

前期比15%増ペース。

注文住宅のシェア拡大も

日進堂グループ

四国最大手ビルダーの日進堂グループ（香川県）は今年、

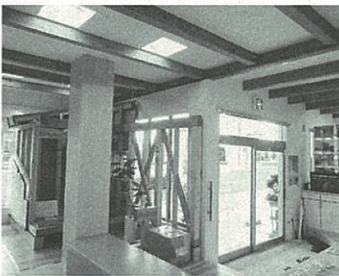
50周年を迎える。注文住宅を主体に手掛ける日進堂（香川県高松市、喜久山知哉社長）は、前期（2017年11月末期）

の着工数が150棟だったが、今期は契約ベースで前期比15

%増で推移しており、見込みで200棟を指す。分譲住宅主体のファミリーホーム（同、千田善博社長）は、前期同様150棟ペースになる。

日進堂グループは、注文住宅を中心に扱う日進堂と分譲住宅が多

現しの梁、木造軸組みを展示（住まいの図書館高松）



事業展開では日進堂が9月22日、ショールームの「住まいの図書館みとよ」（同三豊市）を開設し計4カ所となった。アフターフォローを含めリフォーム専用の「住まいの相談館」（高松市）も設置している。

同グループの家づくりは「フリーチョイスの家」を打ち出し、基礎構造や省エネ、内・外装、設備を選択。標準仕様はなく、予算に合わせたオリジナル仕様が特徴だ。喜久山社長は「コンセプトは香川の家づくりといえは日進堂をイメージしてもらうこと。家そのもののPRはしない」と話す。19年の年明けには日進堂岡山支店（ファミリーホーム岡山支店隣接地）の開設を計画している。